

令7年度 学校関係者評価アンケート 結果に基づく考察および提言書

(令和8.2.6 第3回関係者評価委員会に基づく)

 世田谷区立京西小学校



令和8年2月21日
世田谷区立京西小学校
学校関係者評価委員会



緒言

本委員会では、学校運営のさらなる向上を目的として、学校経営方針や学校の諸活動の参観等をもとに学校関係者評価アンケート項目の設問を検討し、令和7年11月に実施された学校関係者評価アンケートの結果（児童、保護者、地域）、並びに自己点検（教員）の結果等进行分析・考察した。

本評価は世田谷区が標準として掲げた評価項目を網羅的に取り上げるのではなく、重点目標に焦点を当てて、その結果を以下に報告する。

各関係者には本校の学校運営の向上になるよう本評価提言書を活用願いたい。

京西小学校における令和7年度の重点目標

(A)やさしい京西の子ども

～思いやりをもち人の役に立ち、自己実現できる子～

(B)かしこい京西の子ども

～探究的な学びができる子・論理的な思考ができる子～

(C)げんきな京西の子ども

～健康で運動が大好きな子～



<評価結果の概要>

アンケート回答数

- ◆児童 : 583名（前年度 592名）
20クラス（前年度20クラス）全クラス実施
- ◆保護者：回収率約99%（家庭数*兄弟重複もあり）（前年度 家庭数76%）
- ◆教員 : 31名（前年度31名）
- ◆地域 : 11名（前年度12名）

評価基準の表記について

◎：肯定評価80%以上 ○：肯定評価70%台 △：肯定評価60%台 ▲：それ以下

全体を通して各項目の回答でおおむね70%を超えるか、それに近い数値で推移しており高く評価できる。

前年と同様に学校運営上の問題もなく充実した教育指導の向上、信頼と誇りをもてる学校づくりに取り組んでいる。



<評価項目に沿った評価>

【1】令和7年度学校の重点目標について

(A)やさしい京西の子ども～思いやりをもち人の役に立ち、自己実現できる子～

【児童 1～4年生】	【児童 5～6年生】
◎ 友達となかよくしている。(93%) △ 自分にはいいところがある。(69%) △ 目標をもって生活している。(65%) △ クラスや学年のために、すすんで仕事をしている。(66%)	◎ 友達となかよくしている。(95%) ◎ 友達と協力したり助け合ったりできる。(95%) ◎ クラスや学年のために、すすんで仕事をしている。(82%) ○ 自分にはいいところがある。(75%) ○ 目標をもって生活している。(74%)
【保護者】	【教員】
◎ 友達と協力したり助け合ったりしている。(89%) ◎ 校長をはじめ教職員は、学校の重点目標達成に向けて協力して教育活動に取り組んでいる。(89%)	<上位項目> 児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができています。 学校は児童の人間関係力・社会形成能力を育成している。

例年と同様に「友達となかよくしている」との回答が全学年で高い。「自分にはいいところがある」の回答は、低学年は肯定的回答が高いが3～4年で低くなっており、高学年になると再び高くなっている。また、1・2・5・6年生においては「クラスや学年のために、すすんで仕事をしている」という回答が75%以上と高く、3・4年生の活動には工夫を期待したい。また教員は「児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができています」と捉えており、さくら組活動を充実させてきた成果が児童の姿に見え始めていると感じていることから、全校遠足・清掃活動含め引き続きこの活動を工夫を重ねながら継続していくことを期待する。



(B)かしこい京西の子ども～探究的な学びができる子・論理的な思考ができる子～

【児童 1～4年生】 ◎ 先生たちは、勉強が分からないときに、ていねいに教えてくださいか。(89%) ◎ タブレットを使う学習は学ぶことに役立っていますか。(87%) ○ 授業のなかで友だちと話し合ったり自分の意見を発表したりできていますか。(71%) △ 図書室の本を学習に使っていますか。(69%)	【児童 5～6年生】 ◎ 先生たちは意欲を大切にし、丁寧に教えてくださいか。(92%) ◎ タブレットを使うことは学習に効果的ですか？(91%) ◎ 授業では、皆で話し合ったり、意見を発表しあったりすることで、学びが広がっていますか。(89%) △ 図書室の本を読んだり、学習で本を活用したりしていますか。(69%)
【保護者】 ◎ 本校の教員は丁寧に指導している。(90%) ◎ 授業中の友達との意見交換や話し合いは、児童の学びを広げている。(90%) ◎ 本校の児童は、意欲的に学んでいる。(88%) ○ 授業の中で使うタブレットは、児童の学びに効果的に活用されている。(76%) △ 児童は読書をしたり、学習で本を活用したりしている。(66%)	【教員】 ◎ 学校は、児童に基礎学力が身に付くように学習活動を進めている。(100%) ◎ 校内研究やOJT等様々な学習活動を通して、児童の思考力・判断力・表現力の育成を目指している。(96%)

児童の回答からは「先生は丁寧に教えてくれる」「授業中で話し合ったり、意見を発表しあったりして学びが広がっている」という項目の肯定的評価が高く、教員が創意工夫しながら指導にあたっていることが児童に伝わっている。「図書室で本を読んだり、学習で本を活用していますか」の項目は肯定的評価がやや低くなっているが、代わりに「タブレットを効果的に活用している」という項目の児童評価が高くなっている。端末の正しい使い方やネットリテラシーの指導と合わせて、今後はタブレットを活用した学習指導がより重要になってくると思われる。



(C)げんきな京西の子ども～健康で運動が大好きな子～

【児童 1～4年生】	【児童 5～6年生】
◎ 積極的にからだを動かしていますか。(82%)	○ 積極的にからだを動かしていますか。(81%)
【保護者】	【教員】
○ 本校の児童は積極的に体を動かしている。(78%)	体育朝会や集会で運動啓発を意識的にしている。 めあてカードなどを作成し、楽しむ中にも正しい意識を身に付けられるように意識して指導している。昨年同様継続。

体力テストの記録は低下している種目が多く、運動能力の低下傾向が伺える。学校では運動時間の確保や外遊びの励行などを行っているが、引き続き学校全体で取り組んでいただきたい。ただし、「積極的にからだを動かしていますか」への児童の回答は昨年度より上昇しており、特に1～4年生は11%も上昇している。運動の機会が取れない児童や苦手意識をもつ児童が置き去りになりかねないので、継続して学校全体の取り組みを強化し推進していく必要がある。

一方、習い事多忙さ、ゲーム機を使った遊びの普及、夏季の猛暑による運動機会の減少などが近年の課題であり、家庭生活においても児童の健康な体づくりを意識することが大切だと考える。



【2】 児童対象アンケートについて

【児童 1～4年生】	【児童 5～6年生】
◎友達となかよくできる（93%） ◎先生は、勉強が分からないときに、ていねいに教えてくれる（89%） ◎タブレットを使う学習は、学ぶことに役立っている（87%） ◎学校生活は楽しい（87%） ◎学校行事は楽しい（83%）	◎友達と協力したり助け合ったりできる（95%） ◎友達となかよくできる（95%） ◎学校行事は好き(94%) ◎先生は、意欲を大切にし、丁寧に教えてくれる（92%） ◎ 学校生活は楽しい（91%）
△図書室の本を学習に使っている（69%） △自分にはいいところがある（67%） △自分からすすんであいさつしている（69%） △クラスや学年のためにすすんで仕事をしている（66%） △学校の決まりを守って生活している（64%） △目標をもって生活している（65%）	○積極的に体を動かしている（77%） ○自分にはいいところがある（75%） ○自分の将来について考える機会がある（75%） ○目標をもって生活している（74%） △図書室の本を読んだり、学習で本を活用したりしている（69%）

昨年とアンケートの設問が少し変わっているため、比較できないところもあるが「友達となかよくできる」「学校生活が楽しい」や、高学年は「友達と協力したり、助け合ったりできる」が高評価であり、これらは「学校行事が好き」の高評価と密接に関連付けられる。また、先生方が一生懸命子供たちのために、教えていることを児童が感じており、子供たち同士だけでなく先生との関係も良好であることが分かる。

1～4年は、4年生の肯定的評価が若干低く、「自分にはいいところがある」「クラスや学年のためにすすんで仕事をしている」「目標をもって生活している」が、昨年より低くなってしまったが、キャリアパスポートをさらに活用しながら、自己肯定感や自尊意識が高まるよう意識付けしていただきたい。読書については、学校だけでなく広く家庭の協力も呼び掛ける必要があるだろう。今後も引き続き学校行事を大事にしながら、子供たちが行ってみたい魅力ある京西小であることを願っている。



【3】 保護者対象アンケートについて

高評価

- ◎ ホームページやメールの配信、学校だより等で学校の教育活動の様子が分かる。(95%)
- ◎ 学校行事は児童にとって楽しい。(95%)
- ◎ 学校行事は児童にとって達成感がある。(93%)
- ◎ 本校の児童は学校生活を楽しんでいる。(91%)
- ◎ 本校の教員は丁寧に指導している。(90%)
- 授業の中で使用するタブレットは、児童の学びに効果的に活用されている。(76%)
- 学び舎の活動について知っている。(79%)

低評価

- ▲ 児童が将来について考える授業がある。(53%)
- △ 児童は読書をしたり、学習で本を活用したりしている。(67%)

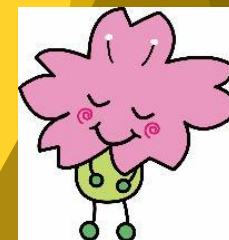
「わからない」が多い項目

- ▲ 児童が将来について考える授業がある。
(肯定評価53%、わからない17%)
- 児童は目標をもって生活している。
(肯定評価76%、わからない11%)

昨年度から質問内容の変更があったが、肯定的な評価は例年通り高い水準を維持している。「ホームページやメールの配信、学校だより等で学校の教育活動の様子が分かる」「学校行事は児童にとって楽しい、達成感がある」「児童は学校生活を楽しんでいる」「教員は丁寧に指導している」の項目は、児童と同様の傾向となり、9割以上の保護者から高評価を得ている。

ホームページの更新頻度が高いことなど、学校からの積極的な情報発信により、児童の日常の充実度や成長の姿が保護者に共有できている。教員による学校行事・学習指導への信頼も厚く、教育活動全般に対して保護者が安心していることが伺える。

キャリア教育や学び舎、読書やタブレットの使用については、成果を得るまでに時間を要する質問項目であるが、わからない・否定的回答が年々減少傾向となっており、児童の活動の可視化が進んでいる。「将来の夢、職業」以外のキャリア教育の多様な側面の周知や、読書とタブレット利用の「学習への活用方法」の提示と情報モラルの指導などについて、より伝わりやすい情報発信と継続的な取り組みに期待したい。



【4】総括

学校での授業や行事に於いて児童たちが学校内外で生き活きと活動している様子がうかがえる。

児童アンケートで「友達となかよくできる」「学校生活・学校行事が楽しい」などをはじめ、授業に関する項目においても昨年と同様に高い評価の回答が得られている。「学校が自分達の居場所として安心できる場所」という学校への信頼感の継続して保たれていると思慮する。この安心した環境を与え続けてくれる教職員の皆さん、さらには保護者、地域の皆さんのご協力に感謝を申し上げたい。

「キャリア教育」の充実や「読書」「タブレット」の有効な活用、また「学び舎」についても理解度が増しているがもう一步の部分もありその改善を望みたい。

また、運動関連の項目については、昨年より低下している部分もみられる。学年が上がるにつれ消極的な傾向があり、学校外でも自発的、恒常的な運動、体力づくりがなされるような取り組みを望みたい。

昨年と同提言であるが、変化が速く情報氾濫の社会環境で、本校でも先生方の負担がさらに大きくなっている。職場環境の改善（負荷軽減）とバランスの良い授業がなされていくことを望むものである。

保護者・地域の皆さんからは、学校公開や継続した情報発信による学校経営等の理解度高く本校の教育活動は評価されている。

毎年の課題でもある地域運営学校（学校運営委員会や三校合同の学び舎）については、理解度が広がっていることも見えており、その努力は継続されたい。

京西小は学校（教職員）と家庭（保護者）、地域（住民）の連携・協力が進んでいる学校である。これは本校が自信をもって言える強みであり、長年の連携の賜物だと思慮する。子どもたちがさらに生き活きと学べる学校づくりを行えるように、それぞれの役割で連携を助け継続されることを願い本報告の結びとしたい。

以上

